

聖パウロ学園10周年記念号



第 8 号

平成10年12月26日発行

発行者

聖パウロ学園内
同窓会事務局

〒525-0055

草津市野路町178

☎077-564-5600

光泉中学・高等学校々歌

江島礼子 作詞
天田 繁 作曲



福音の精神を生きる人に!

理事長 山田 右



光泉中学・高等学校は人類愛の精神、福音的の愛の精神を一人でも多くの人々に理解していただきたいとの願いのもとに、その設立が願望されて実現した学校です。福音は人類、国境を越え、人間として生きていく上で万民に与えられた大憲法です。「隣人を自分の如く愛せよ」と教える福音の精神は宗教宗派に関係なく、すべての人が守らなければならぬ大憲法です。在学中に学ばれた、この福音的の愛の精神を卒業された後も思い起こし、各人の現状を鑑みて活躍してほしいと願っております。

開校以来神様のお導きと聖母マリア様の保護の下に、創造性豊かな国際人の育成をスローガンに地域に愛される学校を目指して参りました。その結果、今では入学志願者が二千名を越えるようになり、また同窓生の皆様の進路も国公立大学をはじめ四年制の有名私立大学へと実績を年々上げております。卒業後は、職場に於いて、社会に於いて活躍されております。

光泉は二十一世紀に向かって飛躍する人材育成の場として、地域の人々に愛され、心から慕われ、尊敬される教育機関として、また志を同じくする学園関係者、教員、生徒、同窓生、保護者各位の出会いの場として、これからも益々発展していくことが出来るよう、より一層精進に励む所存です。そのために同窓生皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。筆を置かせていただきます。

創立十周年おめでとうございませう。先輩諸君のご努力により今日を迎えることが出来ました。その間の苦勞に心から敬意を表します。

去る六月二十八日、瀬田アーバンホテルで本年の同窓会が開かれました。会場では思い出話に花が咲いておりました。久しぶりに再会された人も多くあったようで、姿・形は変わっても話をしていくと昔に帰って行くようです。すでに就職して活躍されている人々、大学生の人々、浪人中の人々など、状況が違ってい

ても共通して光泉中・高校で学んだことに違いありません。同窓会がネットワークとなり、情報・連絡の発信の場となる必要がありませう。そして、同じ学び舎で過ごした事を結び目として母校が心の故郷になることを期待したいものです。本校は創立十周年をバネにして一大飛躍を遂げようとしております。平成十年度から高等部に「III類理数コース」を設置し、理系に強い人材を育てるようスタートしました。I類の普通コース、II類の特進コース、それぞれの特長を生かして、効果的に学力の伸長をはかりたいと思っております。さら

湖南の風が二十一世紀をきりひらくことを信じて、再会を願って挨拶と致します。

月日が経つのは早いもので、光泉高校は創立十周年を迎えました。

私の入学した八年前に比べ、学校施設の充実や、学力の飛躍的向上には目を見張るものがあり、近年の華々しい成長に驚かされるとともに、母校の発展を大変うれしく思っております。

開校から十年が過ぎ、施設面での充実が図られた今日においては、「人間教育の



人間的な豊かさを

会長 田代 知子(2期生)
(旧姓伊藤)

充実」を目指す時期になると、学校施設の充実や、てきたと思えてなりません。光泉高校での学生生活を通じて、善悪の判断ができ、自分の考え方、意見がしっかりと表現できるようになり、人と成長しなければなりません。これには、生徒各人の自助努力はもちろんのこと、先生方には生徒をひとりの大人として扱い、生徒の意見に耳を傾け、前向きな意見交換ができるような体制作りにご尽力していただきたいと思います。

先生方、卒業生、在校生の母校を愛する力を結集することによって、人間的な豊かさを、人間的な豊かさを、生徒が自然に学べるような雰囲気を持った学校へと変貌していくことを心より期待しております。

母校を心の故郷に

校長 小林 富三



今、光泉はセカンド・ルネッサンスの気概で燃えています。必ずや近き将来、進学校として脚光を浴びることでしょう。

先輩諸君が「よい学校です、がんばっておられますよ」と一言、お口添えいただくことが最も効果的なPRなのです。どうか、母校光泉中・高校の発展のためにお力添えをお願いいたします。

